

ワークシート 「走れメロス」を読み取ろう

二年（ ）組（ ）号（ ）

学習日

月

日

いつ	どこで			王	セリヌンティウス
一日目	シラクスの町	メロス（出来事） 町の様子を怪しく思い、老爺に質問した。 老爺の答えは・・・	メロスの気持ち・心の中	王	セリヌンティウス
初夏 満天の星	王城	王城へ乗り込む 王との約束	「あきれた王だ。生かしておけぬ。」 「人の心を疑うのは、最も恥ずべき悪徳だ。」	「人の心はあてにならない。人間は私欲の塊さ」 王の心の声	深夜王城に召された。 無言でうなずきメロスをひしと抱きしめた。
一日目 午前 日は高く昇っている	村	メロス出発 メロスの妹の結婚式が行われた。	満面に喜色をたたえた。 祝宴が華やかになったとき思ったことは・・・		
一日目 薄明のころ	シラクスの町に帰る道中	雨中、矢のごとく走り出た 走るメロスの前に立ちはだかる障害	わたしは今宵殺される。殺されるために走るのだ。身代わりの友を救うために走るのだ。 ああ、神々も照覧あれ！濁流にも負けぬ愛と誠の偉大な力を、今こそ発揮してみせる。 「気の毒だが、正義のためだ」 約束を破る心はみじんもなかった。		
一日目 午後 灼熱の太陽		聞こえてきた音・・・水の流れる音 一口水を飲んだ。 メロス復活	セリヌンティウスよ、私も死ぬぞ。 ああ、もういつそ悪徳者として生き延びてやろうか。		
一日目 最後の残光	シラクスの刑場	「旅人たちの不吉な会話を小耳にはさむ。」「今ごろ、あの男もはりつけにかかっているよ。」 フィロストラトスがメロスに言う。 セリヌンティウスを殴った。 セリヌンティウスとひしと抱き合い、それからうれし泣きにおいおい声を放って泣いた。	メロスがフィロストラトスに 「待て、その人を殺してはならぬ。メロスが帰ってきた。約束のとおり、今、帰ってきた。」 セリヌンティウスに・・・ セリヌンティウス、	「おまえらの望みはかなったぞわしの心に勝ったのだ。」	すべてを察した様子、メロスを殴った。 メロス

表現の特徴